いいで

No.10　2016.5.17

一般社団法人　新潟県臨床検査技師会下越支部

○研修会・総会報告

【平成 27 年度　第３回下越支部研修会および総会】
日時　平成 28 年３月５日（土）14:00 ～ 16:30
会場　下越総合健康開発センター　２階　大講堂
講演　臨床検査技師に求められるチーム力推進と医療安全
　　～チーム STEPPS によるチームトレーニング～
講師　立川メディカルセンター本部
　　看護師確保対策室室長兼看護師教育担当マネジャー
　　樋口　敦子　先生

○研修会

立川メディカルセンターの樋口敦子先生より、チーム（医師・看護師・臨床検査技師・事務職など）で行うリスクマネジメントの講演および実技を行なっていただきました。

「STEPPS」とは、それぞれの言葉の頭文字を採ったもので日本語に訳すと『**医療の成果と患者の安全を高めるためにチームで取り組む戦略と方法**』になります。　意見・提案や引き継ぎの際、どのようなコミュニケーションを取れば円滑に進むのかを教えていただきました。　チームとトレーニングがキーワードということで、コミュニケーションに関する実技を２種類行いました。　まず、６人１グループ（1 人が観察者になり評価をし、５人で作業）で、紙をはさみで切りリングにして輪を繋いでいくことをグループ対抗で行いました。　最初は制約が無く全員で相談をして作業をする、２回目は利き手を使用せず相談をして作業をする、３回目は利き手を使用せず相談もせず作業を行いました。　この実技で、コミュニケーションの基本は気配り・目配り・心配りがなにより大切だということを知ることができました。　次に、指相撲をやり制限時間内で多く勝つ競争も行いました。　お互いに親指を上下にして勝ち数を増やす人、一方の人が勝ち役になり勝ち数を増やすなど皆さん工夫をされて

いました。

実技後は、講演に移り医師・上司に提案する時やチームでの引き継ぎの際の効果的なコミュニケーションの取り方を学びました。　上司に意見を主張する時は、２回チャレンジルールで会話をしてＣ（Concerned：心配）Ｕ（Uncomfortable：不安）Ｓ（Safety Issue：安全）併せてＣ・Ｕ・Ｓ（カス）心・不・全を出すと話しを聞いてもらえる。　そして、引き継ぎで重要な情報を伝達するテクニックは、Ｓ・Ｂ・Ａ・Ｒ（エスバー）でＳ（Situation：状況）Ｂ（Background：背景）Ａ（Assessment：評価）Ｒ（Recommendation and Request：提案・要求）であり、そして、コールアウト（声を出して言うこと）が重要だということでした。

○総会

会員総数 150 名中、出席者 15 名と委任状提出者 115 名で合計 130 名となり総会が成立している旨の報告がありました。

詳しい総会式次第・決算および予算計画案・総会議事録をホームページ内の「支部からのお知らせ」に掲載いたしておりますので、ご覧ください。

このたびの研修会の開催にあたりまして、多大なるご協力をいただきました吉原副会長様、そして、すばらしい講演を行ってくださいました樋口先生に深く感謝を申し上げます。

そして、３月の多忙な時期にも関わらず、ご参加くださいました皆様ありがとうございました。

○下越支部役員の交代

表彰委員を務めておりました金子拓志技師に代わりまして、今年度より県立新発田病院の石川直子技師に就任していただくことになりました。　長らく役員を務めていただきました金子技師に対しま

して、感謝の意を表します。

○次回研修会のご案内

日時　　平成 28 年 7 月 23 日（土）　14:00 ～ 16:30（受付 13:30 開始予定）
会場　　新潟医療福祉大学　顕微鏡室 N511（第 6 研究・実習棟　N 棟　5 階）
　　新潟市北区島見町 1398 番地　　電話番号 025 - 257 - 4455
　　第 3・6・7 駐車場をご利用ください。
講演　　今さら聞けない検査の基本 2016 - 尿沈渣鏡検出前研修会 - 下越支部編
　　※準備の関係から事前申し込みになります。
　　後日、改めて技師会報などにて『ご案内』いたします。
参加費　無料